

1 次の問いに答えなさい。

(1) 120 円切手と 140 円切手を合わせて 15 枚買ったところ、合計金額が 1960 円になりました。

120 円切手と 140 円切手をそれぞれ何枚ずつ買ったか求めなさい。

(2) 大人 2 人と子供 5 人の団体に美術館に入場すると 2500 円かかります。

また、大人 3 人と子供 4 人で美術館に入場すると 2700 円かかります。

この美術館の大人と子供の入場料をそれぞれ求めなさい。

(3) 大小 2 つの整数があります。2 つの数の和は 27 であり、大きい数は小さい数の 3 倍よりも 5 小さい数です。この 2 つの整数を求めなさい。

1 次の問いに答えなさい。

- (1) 120円切手と140円切手を合わせて15枚買ったところ、合計金額が1960円になりました。120円切手と140円切手をそれぞれ何枚ずつ買ったか求めなさい。

120円切手の枚数を x 枚、140円切手の枚数を y 枚とすると

$$\begin{cases} x + y = 15 \\ 120x + 140y = 1960 \end{cases}$$

が成り立つ。これを解くと

$$x = 7, y = 8 \text{ となるので}$$

120円切手は7枚、140円切手は8枚

- (2) 大人2人と子供5人の団体が美術館に入場すると2500円かかります。また、大人3人と子供4人で美術館に入場すると2700円かかります。この美術館の大人と子供の入場料をそれぞれ求めなさい。

大人の入場料を x 円、子供の入場料を y 円とすると

$$\begin{cases} 2x + 5y = 2500 \\ 3x + 4y = 2700 \end{cases}$$

が成り立つ。これを解くと

$$x = 500, y = 300 \text{ となるので}$$

大人の入場料は500円、子供の入場料は300円

- (3) 大小2つの整数があります。2つの数の和は27であり、大きい数は小さい数の3倍よりも5小さい数です。この2つの整数を求めなさい。

大きい方の整数を x 、小さい方の整数を y とすると

$$\begin{cases} x + y = 27 \\ x = 3y - 5 \end{cases}$$

が成り立つ。これを解くと

$$x = 19, y = 8 \text{ となるので}$$

求める整数は19と8